

第2号



ニュース

ニュース

加盟団体

- ・NTT西日本広島
- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダース
- ・湧永製薬
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエスト
- ・レドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

FFパレード盛り上げた



↑ファンを囲み記念撮影 パレードに参加



3日から3日間、広島市平和大通りを中心に開かれたフラワーフェスティバルにトップスが参加、地域住民と交流を深めた。

初日の3日は「花の総合パレード」を行った。ハンドボールの湧永製薬、広島メイプルレッズ、バレーボールのJT、ソフトテニスのNTT西日本広島、バドミントンの広島ガス、陸上の中国電力の選手やスタッフが横断幕を掲げて行進した。

平和の塔のそばには「トップス広島広場」ブースを開設。ユニホームやグッズを展示、サイン会、撮影会のほか、ファンとバドミントンゲームやハンドボールの的当てゲームなどを行い、市民とふれあいを深めた。また、東京五輪招致のPRにも一役買い、ポスターやチラシを配った。

《コカ・コーラWRS 成績》

▽第2節	○6 (3-0, 3-0)	0立命大
	○2 (0-0, 2-1)	1南都銀行
▽第3節	○2 (0-0, 2-0)	0グラクソ
	●1 (0-0, 1-2)	2山梨学院
▽第4節	○2 (1-0, 1-0)	0天理大
	○1 (1-0, 0-0)	0グラクソ

合は17日日本リーグまで、コカ・コーラ女子は消化試合は1勝2敗で6試合に勝つて1勝を挙げている。



日本リーグ

山梨学院に手痛い1敗

4強 逃す

黒鷲旗大会



堺に0-3

《JTの成績》

▽予選リーグD組	○3-2FC東京	○3-0順大
	●1-3パナソニック	
※順位	②2勝1敗	
▽準々決勝	●0 (2-2, 2-2)	3 堺

黒鷲旗全日本男女選抜大会は1日から大阪府立体育会館で行われ、男子のJTは予選リーグD組で2勝1敗、2位で決勝トーナメントに進出した。しかしプレミアリーグ準優勝の堺と対戦した準々決勝で0-3のストレート負け、2年続けて堺に4強進出を阻まれた。

8チームで2回戦総当たりで戦う日本リーグは2巡目に入った。

今季リーグ初制覇を狙うコカ・コーラは開幕から4勝1分けと好スタートを切ったが、6戦目の山梨学院に1-2で惜敗、手痛い黒星を喫した。

6月13日には地元で3連覇を目指すソニー宮を迎える。ここが今季の正念場。白星へ手を携えて大きな声援を送りたい。



地元開幕戦となった立命大とゴール前での激しい攻防

高萩 自身初 3戦連続弾

「鉄人」服部が9日の千葉戦（フクダ）でJ1通算300試合出場を達成した。リーグ38人目。生え抜きでは初めてで両親や友人らが駆け付け、記録達成を祝った。

失点が減ったが、一方で得点も減少という戦いが続き、千葉戦では8試合ぶりの黒星を喫したが、山形戦では前半に相手ミスにもつけ込んで3点を挙げて快勝。勝負への執念を見せつけた。

順位も7位に上昇、今後の戦いに勢いがつきそうな気配が漂う。

なかでも好調なのが高萩。山形戦では30本ロング弾で初めてとなる3戦連続得点を記録。佐藤寿と並びチームトップの5得点をたたきだした。

ナビスコカップ予選リーグは20日に第2戦を戦い、横浜に1-3で敗れ、1勝1敗となった。一度は佐藤寿のゴールで同点としたが、直後に失点。後半にも追加点を許した



服部 300試合出場

◆J1リーグ結果◆

第7節	▽1 (0-1, 1-0)	1川崎	広島ビ
第8節	▽0 (0-0, 0-0)	0名古屋	瑞穂陸
第9節	▽0 (0-0, 0-0)	0清水	広島ビ
第10節	○2 (1-0, 1-0)	0FC東京	広島ビ
第11節	●1 (1-2, 0-0)	2千葉	フクダ
第12節	○3 (3-0, 0-1)	1山形	広島ビ

◆ヤマザキナビスコカップ◆

第3節	●1 (1-2, 0-1)	3横浜	日産ス
-----	---------------	-----	-----

佐藤、世界陸上マラソン代表

2003年パリ大会いらい

中国電力
陸上競技部

佐藤敦之が世界陸上マラソン（8月、ドイツ・ベルリン）代表の最後の枠を獲得した。

佐藤は4月、ロンドン・マラソンで2時間10分を切る好タイム、2時間9分16秒の今シーズン日本最高タイム出の8位に入り、代表入りを確実にしていた。

昨年の北京オリンピックで最下位に終わり、世界マラソンは雪辱を期すレースになる。初出場した2003年パリ大会（10位）いらい3大会ぶりの代表。

佐藤は「北京の悔しい思いを払拭（ふっしょく）したい」と雪辱を誓っている。



岡本 1万6位

兵庫リレーカーニバル

今夏ベルリンである世界選手権代表選考会を兼ねた兵庫リレーカーニバルは4月26日、神戸・ユニバー記念競技場で行われ、男子1万6位に出場した岡本直己は28分28秒37、日本人最高の6位と力走した。

また、4月29日に地元広島ビッグアーチで行われた織田幹雄記念国際大会の5千メートルで13分44秒00、日本人大会の8位で走り、今シーズンの好調ぶりをアピールした。

短信

■田子、織田2位、大阪は4位
今夏8月にドイツのベルリンで開かれる世界陸上の参加標準記録（B標準3分39秒20）突破を目指す田子康宏が2レースに出場した。

4月29日の織田幹雄記念大会で3分46秒62で2位、5月9日の国際グランプリ大阪大会では3分41秒23で4位に入った。

いずれも標準記録の突破はならなかったものの、今後につながるレースをした。



県知事杯選手権

県知事杯選手権は4月19日、広島市中央コートで開かれ、男子は水澤・森本が優勝、中堀・高川が準優勝した。

ベスト4を独占した女子は佐々木・山本が栄冠を握り、熊鳥・伊藤が準優勝、塔田・大庭、三好・前道は3位となった。

男子 水澤・森本制す
女子 佐々木・山本V



谷村 最多得点 植垣



ハンドボールの日韓定期戦は6日、神奈川県川崎市とどろきアリーナで開かれ、日本は女子が32-27で若手主体の韓国を下し、07年8月の北京オリンピックアジア予選以来の白星。男子は27-36で敗れた。対韓国戦は2分をはさみ20連敗で、通算成績は12勝2分け29敗、女子は5勝

ハンドボール
日韓定期戦

1分け38敗。

男子には湧永製薬からGK松村、志水とCP新、新人谷村、メイプルからはCP植垣、伊藤、新城が出場。谷村が5得点、植垣が8得点を挙げ、男女の最多ゴールと活躍、新城は代表初得点を記録。この大会は今年から相互開催で毎年開かれる。

大庭、3位入賞

全日本シングルス選手権

全日本シングルス選手権は16、17日に埼玉県狭山市の智光山公園コートで行われ、女子で大庭彩加が3位に入賞、水間奈津紀がベスト16、塔田光理、佐々木舞はともにベスト32だった。

男子では中堀成生が準々決勝に進出したが、学生相手に惜しくも敗れた。また、高川経生は2回戦でこちらも学生に苦杯を喫した。

男子が4年ぶり9度目、女子が3年ぶり7度目の優勝を目指し奮闘したが、いずれも果たすことが出来なかった。

JTファン感謝デーに600人

★トピックス★



JTのファン感謝デー2009が10日、猫田記念体育館で開かれ600人余が詰め掛ける盛況だった＝写真。

紅白戦で幕を開けたイベントは、選手と組んでのゲームなど楽しい催しがいっぱい。3時間にわたって選手たちと交流を深めた。

●JT小川、初代表
JTのレフト小川旭が6月からのワールドリーグ日本代表19人に初めて選出された。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

●湧永・メイプル選手が手ほどき

湧永製薬、広島メイプルレッズが10日、広島市東区スポーツセンター開館20周年誕生記念祭で小中学生らを対象にハンドボール教室を開いた。

パスなどの基本プレーや子どもたちと一緒にゲームを楽しみ、サイン会、記念撮影会もあった。